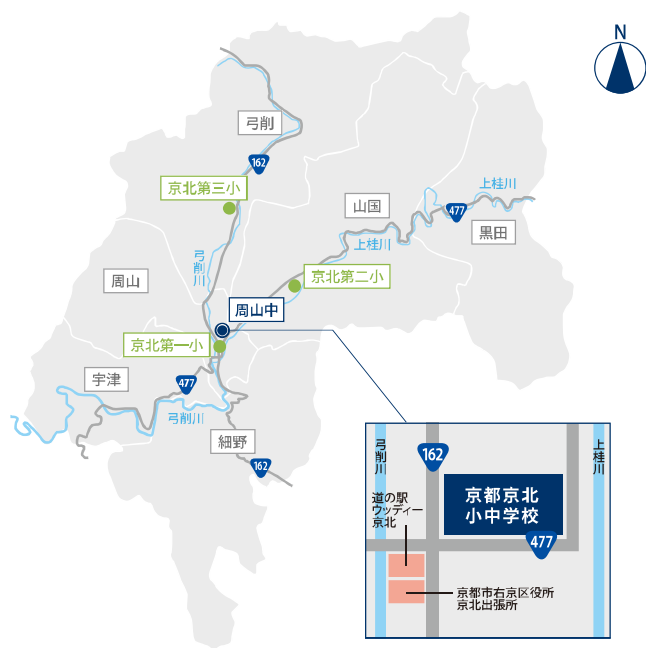


学 校 所 在 地



京都市立京都京北小中学校 学校案内 [第2版]

この学校案内は、令和元年11月時点での検討内容に基づき作成しています。

京 北 第 一 小 学 校

TEL.075-852-0026 FAX.075-852-1600
e-mail keihoku1-s@edu.city.kyoto.jp

京 北 第 二 小 学 校

TEL.075-853-0002 FAX.075-853-7100
e-mail keihoku2-s@edu.city.kyoto.jp

京 北 第 三 小 学 校

TEL.075-854-0244 FAX.075-854-0256
e-mail keihoku3-s@edu.city.kyoto.jp

周 山 中 学 校

TEL.075-852-0053 FAX.075-852-0090
e-mail shuzan-c@edu.city.kyoto.jp

京都京北小中学校の開校準備状況は、教育委員会のホームページをご覧ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000204524.html>

[発行] 令和元年11月

京都市教育委員会 京都京北小中学校教育企画推進室

TEL.075-222-3801 FAX.075-231-3117

豊かな自然と伝統・文化を生かして一人一人の志を高める学校

Kyoto Keihoku

令和2年 4月開校

施設一体型
小中一貫教育校
義務教育
学校



京 都 市 立



京都京北小中学校

白鳳朝への思いを
馳せる丘陵に

「未来を創る 学窓」が誕生します

～つなぐ・つながる～

伝統と創造，学校と地域，個人と社会，習得と探究

「全国に誇るべき施設一体型の小中一貫教育校を京北の地に創設したい」という地域・保護者・学校関係者の熱意とご尽力により、京北第一小学校・京北第二小学校・京北第三小学校が統合し、周山中学校と合わせた4-3-2年制（3ステージ）の義務教育学校「京都京北小中学校」が令和2年4月に誕生します。

京都京北小中学校は、白鳳期（7世紀後半）に創建された周山廃寺跡の丘陵にそびえ立ち、京北地域の新たなランドマークとなる学窓であり、「つなぐ・

つながる」ことをコンセプトに、京北地域の歴史と伝統、豊かな自然環境と文化を礎として、学校、子ども、保護者、地域等がしっかりとつながり、「高い志を抱き、未来のつくり手となる子どもの育成」を目指します。

そのため、次の4つのねらいのもと、9年間の小中一貫教育を推進するとともに、「自律・貢献・創造」という3つの校訓を基盤とした教育を実践していきます。

京都京北小中学校のねらい

ふるさと京北を愛し、
誇りに思う心情や
態度の育成

9年間の連続した
学びに支えられた
学力・学習意欲
の向上

自らの心身の
健康を育む
意欲と体力の向上

豊かな人間性、
市民性の育成

校 訓

自 律

他者への思いやり、人との絆の大切さを実感しながら、自らの生活や人生をより良く高めるため、正しい判断とそれに基づく行動ができる。

貢 献

多様な人々との協働のもと、自分が身に付けた資質・能力を他者のために役立てることで、地域貢献・社会貢献ができる。

創 造

自分ならではの感性や創造性を発揮するとともに、自らの可能性を信じ、どのように社会が変化しようとも豊かに生きていく。

学 校 教 育 目 標

ふるさとの伝統と文化を受け継ぎ、誇りに思い、
自らの志を高め、未来に向けて大いに学び育つ子どもの育成

～言語能力と地域創生力を伸ばす～

言語能力

全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤として重要な役割を果たします。このため、言語能力の向上は、学びの質を高め、受信・理解・発信する力を培います。

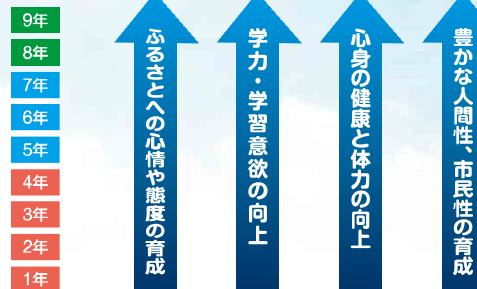
地域創生力

新設する「京北ふるさと未来科」を軸に、地域社会における産業の役割や環境等を理解するとともに、探究的な学習を通して、問題発見・解決能力を育成し、地域振興や地域創生につながる資質・能力を育んでいきます。

9年間を見通した効果的で特色あるカリキュラムの編成

学校教育目標

ふるさとの伝統と文化を受け継ぎ、誇りに思い、
自らの志を高め、未来に向けて大いに学び育つ子どもの育成



保護者の方へのお願い ～学校での学びが、明日、未来につながるように～

子どもたちに、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育むためには、学校での学びを日常生活で活用することや、ご家庭での経験を学校生活に生かしていくことが、とても大切です。

学校からも積極的に情報提供をいたしますので、お子さんが学校で「何を学び、どのような力が身についたのか」を、ご家庭でもぜひ話し合ってみてください。保護者の働きかけが、子どもたちの可能性をより大きくするための原動力になります。

ファースト セカンド サード 1st (4年) → 2nd (3年) → 3rd (2年) の 3段階のステージで新しい学びに

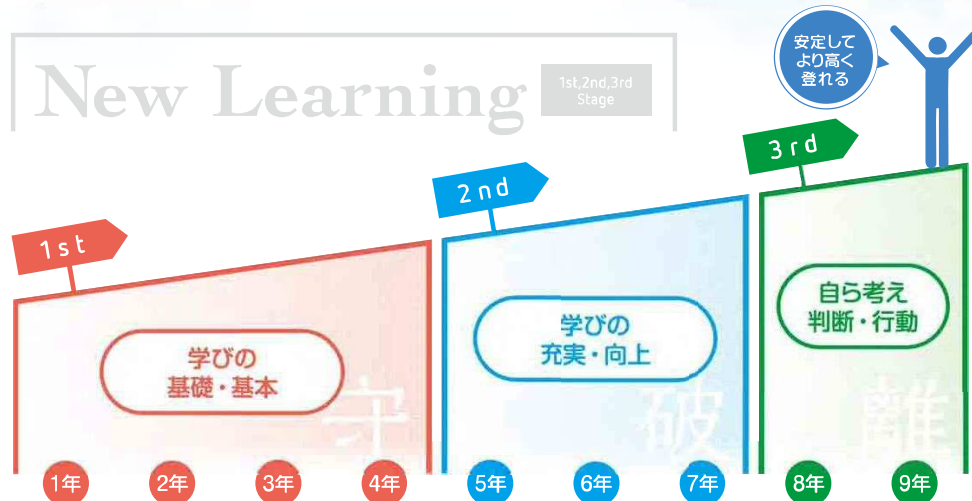
単に小学校（6年制）と中学校（3年制）が学びの場を同じくするのではなく、一つの学校「義務教育学校」として、9年間の学年を3段階のステージに区分し、一つの施設で学ぶメリットを最大限に生かしながら、子どもの成長に応じて教育を進めます。

義務教育前期課程

【小学校】

義務教育後期課程

【中学校】



9年間を通した学びのプロセス「守・破・離」

伝統的な概念「守破離」とは、武道、芸能、スポーツなどにおける理想的な学びのプロセスを3段階で示したものであり、「守」は正しい型を模倣し身に付ける段階、「破」はそれを応用し、自分に合ったものとする段階、「離」は自分のスタイルを確立し、創造や革新につなげていく段階を指します。

9年間を見通した「つなぐ・つながる」カリキュラム

学び

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 言語能力と計画的に学習する力の向上
- 教科間の相互の内容を関連付けた効果的な教育課程

地域創生

- 地域との連携の拡充・推進
- 「京北ふるさと未来科」による体験学習と探究活動の充実
- 人や社会と関わる力の伸長

育ち

- 一人一人の子どもを徹底的に大切にする指導
- 自らの心身の健康を育む意欲と体力の向上
- 豊かな人間性と市民性の育成

1st Stage 1～4年

学びの重点事項 | 体験的・発見的活動を重視した学びの基礎力の育成

◎学ぶ楽しさを知り、学んだことを生活に生かすとともに、学び方や学習規律、基本的な生活習慣、礼儀作法等を身に付けます。

- 1stステージ前期では、重点的に自己肯定感の醸成と学習規律の徹底を図ります。また、運動に親しみ、基礎体力の向上を目指します。
- 1stステージ後期では、前期で培った読み書き指導などを基盤として、発展的な学習にも取り組みます。また、身体能力の育成にも重点を置き、体幹を鍛えます。
- 段階を追って、学校生活に必要な技能やルールを身に付けながら、社会性の基礎を育みます。



ここがポイント！

「わかった」「おもしろい」と
思える授業に

見通しを持ち、粘り強く
取り組む力を育む授業に



1年 就学前教育と円滑につなげるためのスタートカリキュラムのもと、学校生活への安心感を培いながら、京北の四季を観察するなど、具体的な活動や体験を取り入れた授業を行うことで、自信と意欲を育みます。

2年 聞くこと、話すこと、協力することなど、積極的に授業に参画する態度や学習のルールを身に付け、主体的に学習するための基礎を育みます。



3年 これまでの学習を基に、3年から始まる社会科や理科の学習等でより発展的な学習に取り組みます。しっかり聞き、はっきり話し、学び合いながら、自分の考えをもてるよう、話し合い活動に取り組みます。

4年 確かな学力の定着・生活習慣を身に付け、1stステージのリーダーとして下級生をまとめます。また、ロボットPepperを活用するなどプログラミング教育に本格的に取り組みます。

1stステージの1日



※帯学習では短時間（15分程度）の学習を毎日設定し、学習課題に取り組みます。

2nd Stage 5～7年

学びの重点事項 | 主体的な探究力と場面に応じた活用力の育成

◎ 学びの基礎・基本の確かな定着のもと、指導や支援方法の更なる工夫を図り、意欲や関心を高め、主体的に探究し、生活に活用する力を育みます。



- 言語能力など、学びの基盤となる資質・能力の確実な定着と、自ら主体的に探究し、生きた知識として活用できるよう指導・支援するとともに、成長の核となる学習規律・生活習慣を確かなものとしていきます。
- 小学校課程と中学校課程を円滑につなぐために、段階的に中学校課程の教科担任制や50分授業を取り入れていきます。
- 集団の中で学習を進め、各種活動を通し、個々の能力の伸長と他者への配慮を意識した、主体的に行動できる実践力を身に付けます。また、集団の中で互いの良さを認め合う心情を養い、人間関係形成・社会形成能力を育みます。

／ ここがポイント！ ／

集団の中で共に学び、新しい発見が生まれる授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

5年

一部教科担任制と50分授業や部活動を導入し、1stステージで培った学びの基礎・基本を生かして、活用する力を伸ばし、「協働的で主体的な学び」へとつなげていきます。

6年

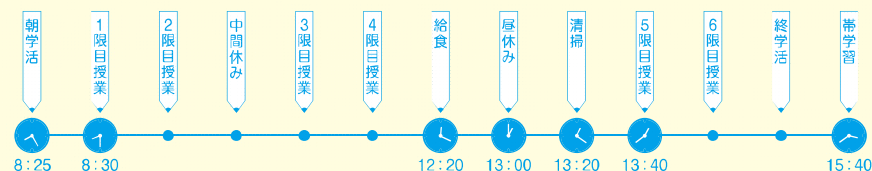
小学校課程の集大成として、学びを継続・発展させ、探究力・活用力のさらなる向上を図り、知識がつながり構造化される「深い学び」ができるよう取り組みます。

7年

下級生との合同宿泊学習などを通して、2ndステージのリーダーとしての自覚を高め、「協働的・主体的で深い学び」の定着と自らの生き方を考える力を育みます。



2ndステージの1日



3rd Stage 8・9年

学びの重点事項 | 確かな発信力の育成と志の確立をもとにした自己実現

◎ 高い志をもって計画的・協働的な学びを深め、積極的に発信できる力を育て、広い視野をもって、未来につながる進路の実現につなげます。

- 自らの進路を切り拓く確かな学力を培うために、発展的な学習を積み重ねます。
- 未来を創造するために、自律的に生涯学び続ける意欲と自学自習の態度を育みます。
- 常に自分磨きをしながら、よりよい人間関係を構築する力と社会の一員としての市民性を育みます。
- 多様な体験活動等を通して自己有用感を高め、将来の自己実現及び地域を愛する心情や態度の育成に向けた望ましいキャリア発達を支援します。



／ ここがポイント！ ／

習得・活用・探究という学びの過程を確立し、より「深い学び」ができる授業に

予測困難な時代においても、自ら課題を見つけ、考え、正しい判断ができる力を育む授業に

8年

進路に関する調べ学習や職場体験等の生き方探究教育を通して、社会と自己の関係を探究しながら、自らの進路や生き方を見据え、自ら積極的に学ぶ力を育みます。

9年

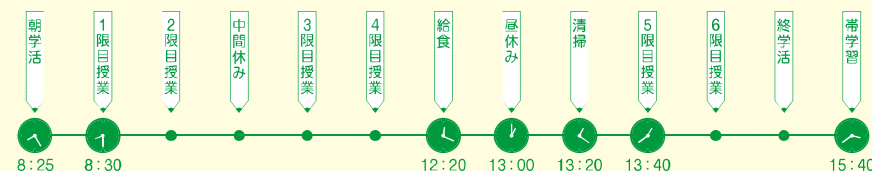
最上ステージのリーダーとして、地域創生に向けた提言を行うなどにより、全校児童生徒の道標となる集団づくりを進め、将来の自己実現に向けて努力し続ける態度を育みます。

進路指導

京北地域の伝統と文化に誇りを持ち、自らの志の確立と一人一人の自己実現に向けた進路選択を支援します。

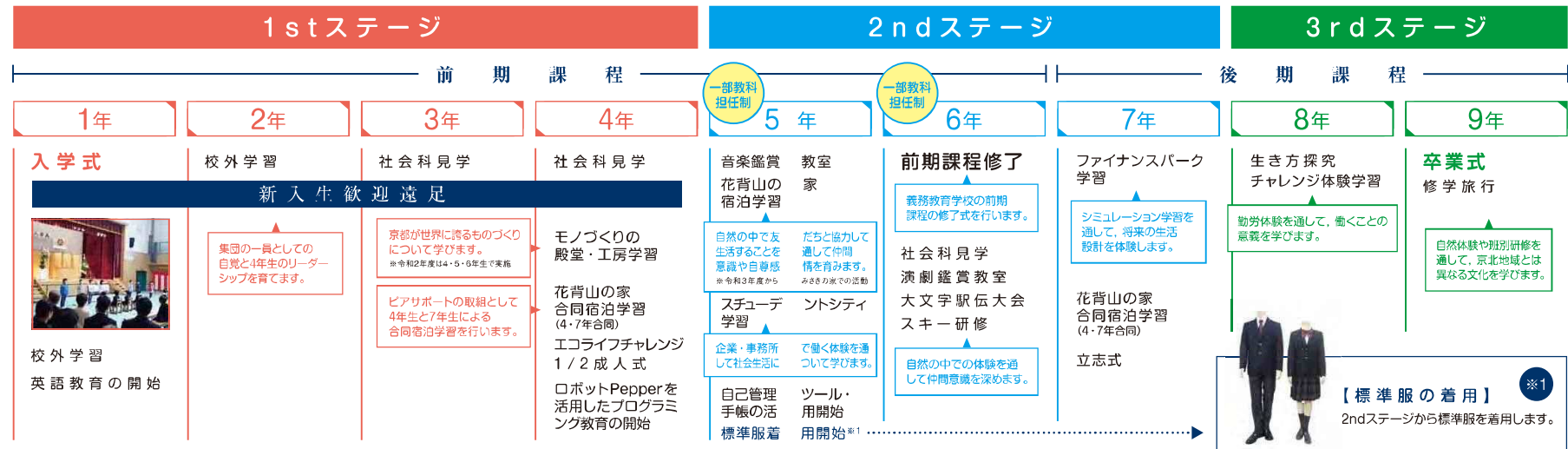


3rdステージの1日



未来を担う市民性を育む、「つなぐ・つながる」を礎とした学校生活

9年間の学校生活（令和2年度予定）



1年間の学校生活（令和2年度予定）



未来へ・世界へ

9年間を通した 地域学習の実施

「京北ふるさと未来科」を中心に、地域の魅力を知り地域に誇りをもって、社会の発展につながる「地域創生力」を育成します。また、この学習を通して探究する心を伸長します。

※京北ふるさと未来科では、京北地域を探究のテーマとし、生活科、総合的な学習の時間を軸に、教科横断的な学習を行います。

つながりを生かす ピアサポート

異年齢集団による縦割活動などを通して、下級生は、「安心感」や「あこがれ」を培い、上級生は、「自己有用感」と「自尊感情」を育みます。

計画的に生活をする習慣を 身に付けるための支援

2nd ステージから、1日のスケジュールを自己管理できるように、「やるべきこと」や「やりたいこと」を明確にするための自己管理ツール・手帳を活用します。

ICT機器等の活用と プログラミング教育の充実

未来社会（Society5.0）に向かう急速な社会の変化を見据え、ロボットPepper等のICT機器の活用を通して、プログラミング教育とともに主体的に学ぶアクティブ・ラーニングの充実を図ります。

困りを抱える子どもに 対する支援

小中一貫教育校の利点を生かした総合育成支援教育を進めるとともに、さまざまな困りを抱える子どもの個々に応じた学びを支えます。

市民性を育てる 教育を充実

「他人を尊重すること」・「個人の権利・責任」・「歴史・宗教・文化の多様性の価値」など、世界の人々と協力するために必要な能力を身に付けます。

英語教育の充実

1年生から英語教育の充実を図り、英語で自己表現できるコミュニケーション力を高め発表する場を設定します。また、実践的コミュニケーション力を身に付けるため、英語圏の学校との交流を促進します。

つながり・つながるそして、
はばたく

3rd

自ら考え判断・行動し、
自己の生き方を創造する
確かな発信力の育成と志の
確立をもとにした自己実現

2nd

学びを充実・向上させる
主体的な探究力と場面に
応じた活用力の育成

1st

学びの基礎・基本を
確実に身に付ける
体験的・発見的活動を
重視した学びの基礎力の育成

教科担任制

50分授業

一部教科担任制

学級担任制

カリキュラム 研究の導入

教員の授業の質の向上につなげる研究室を設置します。各教科の指導に関する資料や指導後の改善点を蓄積・活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげます。

自校調理給食の 導入

全学年が自校調理給食となります。京北米を使うなど地産地消で実施し、食教育の充実につなげます。

保育所・北桑田 高校等との連携

北桑田高校との授業連携や合同部活動等の実施、保育所との就学前からの交流促進など、京北地域にある教育機関との一層の連携を重視した取組を進めます。

家庭教育

就学前
教育

地域力



1 全学年が一室に会することができる、眺望の開けたランチルーム



3 吹抜け構造で、開放感のある昇降口



1F



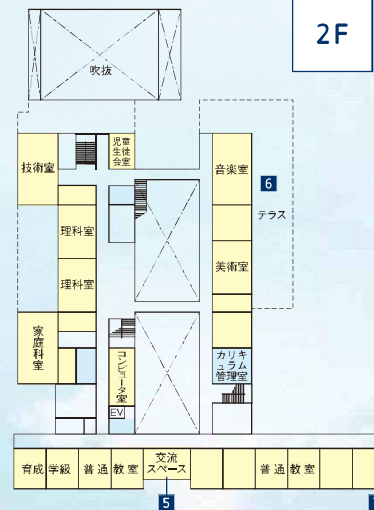
2 避難所としての機能を備えた体育館



4 各所に木材を利用した、ぬくもりのある図書館(メディアセンター) 地域開放を想定し、昇降口付近に設置



5 京北のまちを眺望できる開放的な交流スペース



2F



6 イベント等にも利用できるテラス



7 校舎の南面に配置する、明るく開放的な普通教室

教室ゾーン
管理諸室ゾーン
EV = エレベーター



京北地域のシンボルとなる、光があふれ、木のぬくもりを感じる新校舎



南西からの鳥瞰図



北東からの鳥瞰図



西側からの外観



東側からの外観(ヤブグラウンド)

- 京北のシンボルとなる学窓
 - ・丘陵地の景観や山並みと一体となった外観デザインとし、京北の町並みへの調和を図ります。
 - ・周辺からも視認しやすい場所に時計塔を設置します。
- 地域に開かれ、地域と共につくる学窓
 - ・昇降口や図書館上部を吹抜け空間とするとともに、2階には吹抜け空間を囲むように廊下を配置し、見通しを良くすることで交流を促進します。
- 京北の自然を活かした、木のぬくもりを感じる学窓
 - ・柱、梁、床を鉄筋コンクリート造とすることで「堅牢さ」を確保しながら、屋根の一部を木造の現しとするなど、木材や自然素材を内外に使用することで、ぬくもりを感じる校舎とします。
 - ・木質ペレットを燃料とした冷暖房設備や太陽光発電の採用など、自然エネルギーを積極的に活用します。
- 子ども・地域にとって、安心・安全の学窓
 - ・防災拠点施設としての機能を確保し、校舎を低層とすることで避難しやすく安全性を高めます。
 - ・落雪や氷柱の発生を防止するため、屋根はゆるやかな勾配で雪止めを設置し、1.5m以上の庇を設け、積雪時に子どもが安全に歩ける通路を確保します。
- 充実したICT環境
 - ・無線LANを整備して円滑なタブレット授業を実現します。

「京北はひとつ」 ～地域のシンボルとなる学校へ～

令和2年の開校に向けて、地域の方と多くの議論を重ねました。

統合要望書の提出

4校のPTAや地元6地域の自治会、京北自治振興会において検討が進められ、「3小学校を統合し、周山中学校と合わせた小中一貫教育校(施設一体型)の創設」を求める要望書が平成27年7月に教育委員会に提出されました。



統合要望書提出

開校に向けた様々な取組

平成28年6月からは「京北地域小中一貫教育校検討協議会」が発足し、小中一貫教育校の創設に向けて、様々な課題の検討が行われています。



検討協議会

校名要望書の提出

平成30年12月には、京北地域小中一貫教育校検討協議会から、新校名を「京都京北」とすることを求める要望書が教育委員会に提出されました。



校名要望書提出

新校舎建設工事

平成31年1月から、新しい校舎の建設工事を着工しました。近隣の皆様の御理解と御協力のもと、順調に進捗しています。



起工式

合同行事・合同学習の実施

小中一貫教育校の開校を見据え、平成28年度から4小中学校による合同行事・合同学習、3小学校の合同学習等を充実し、児童・生徒間の交流を深めました。



合同学習(音楽)

通学安全に向けた取組

通学時の安全確保に向け、開校時を想定した状況下での「通学シミュレーション」を定期的に実施し、課題等について関係機関とも検討を重ねています。



通学シミュレーション

校歌・校章の選定

令和元年10月には「校歌」「校章」が選定されました。



京都京北小中学校校章

旧京北町の町章である六芒星の形をベースとし、同じ形で表した北山杉は6つの地域を象徴しています。更に周囲には稲穂をあしらひ、豊かな自然の中で林業や農業が栄える京北の姿を表し、これらに支えられ「京北」の学校として、未来へ大きく成長して進む姿を表現しています。

(デザイン: 梅林 敬蔵)

京都京北小中学校 校歌

久保 正鳳 作詞

平田 あゆみ 作曲

Allegro Moderato

1. いま

さりが ののやの ぼまは るをな ひあか のおお かぎり げった につつ せきせ いよん ききこ あなの るれせ

るのき わおま かおな 二二 きいび めがや よわに たこと いもう しとを ななき だみき きてし たはむ

ゆけね みみに なあた 二二 くいき しじひ りんろ ののせ 一 一 みちが ちかい をらへ きたと わかび めめた よよと

うろう うろう きとき ぼもぼ のみの 一 一 おがう かかた にんが そわこ びこた えうま たんす つる かすび

2. 3. とき

やむゆ くゆく きよく うてう とにと けひけ いかい ほりほ 一 一 こうれう

京都京北小中学校 校歌

久保 正鳳 作詞
平田 あゆみ 作曲

今こし昇る 日の影に
生気あふる 若き芽と
大志を抱き たゆみなく
真理の道を 究めよう
希望の丘に そびえたつ
輝く京都 京北校

みどりの山を 仰ぎつつ
清き流れの 大堰川
友と和みて 励み合い
自律の力 高めよう
共に磨かん 若人の
進む行く手に 光あれ

魁の花 薫りたつ
千石の遺跡 学び舎に
尊き歴史 胸に抱き
広き世界へ 翔びたとう
希望の歌が こたえする
伸びゆく京都 京北校